

Reader's VIEW

2017 Vol.4 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部へ寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト (<http://berd.benesse.jp/>) でご覧いただけます。

◎特集の東京大学大学院・村上祐介准教授の課題整理は、教育委員会の立場から大変刺激になりました。ご指摘の通り、自分たちから首長部局に働きかけていかなければ、教育委員会や学校現場はどんどん苦しくなります。特に、意見聴取者・他部局との連携が重要だと分かり、どのように働きかければよいかのヒントが得られました。(新潟県)

◎特集で、首長部局との連携のあり方がイメージできました。本市の人事方針は、誌面で少数例として挙げられていたように、教育委員会事務局の行政職が担当が変わっても事務局内で経験を積む形です。スペシャリストが多くなり、教育職の我々にとって、事業を進めていく上で大変ありがたい存在になっています。(京都府)

◎これからの教育委員会には、事務局の所属メンバーの専門性を最大限に生かす形での組織活性化が必要だと考えます。教員出身者や行政職の職員らが、それぞれ得意を發揮しながら相互に学び合えば、教育施策の充実につながります。本市では、行政職経験が豊かな教育部長が、学校現場の実情を確かめることで、首長部局への働きかけの実効性が高まってきました。(青森県)

◎特集では、兵庫県西脇市の片山象三市長が荒川優子指導主事の提言を受けて施策を実施することで、素晴らしい成果を上げていることに感銘を受けました。指導主事が学校現場と行政を結びつけ、研究会や研修会を効果的に実施している好事例でした。(岩手県)

◎特集では、東京都多摩市の企画政策部長の、今日的課題の解決にはすべての部局の連携した対応が不可欠、という言葉が印象に残りました。縦割り行政では、結果的にマイナス部分が生じてしまいます。多摩市・兵庫県西脇市とも、市長部局と連携して施策を考え、実施することで教育効果を高めている点が参考になりました。(東京都)

◎「特別の教科 道徳」について、具体的に準備を進める中で、評価のあり方に課題を感じていました。東京学芸大学の永田繁雄教授が示された評価の留意点は、陥りやすい課題が具体的に示されており、納得感がありました。また、東京都中野区立塔山とうのやま小学校の事例はノートが具体的に分かりやすく、新年度からの実践の参考になりました。(山口県)

◎道徳科の評価には、「道徳的実践力は、日常生活の中で表出されるのではないか」「記述式の評価では、記述例に基づいた画一的な表現にならないか」など、様々な課題があります。現場の先生方には、記録や評価のための授業とすることなく、子どもが人間としての生き方を追究する授業となるよう心がけてほしいと思います。(千葉県)

◎巻頭記事「近未来展望」で、国立情報学研究所社会共有知研究センター・新井紀子センター長からのメッセージが印象に残りました。最近「AIが人間の仕事を奪う……」という衝撃的な見出しを目にすることもありますが、人間は人間にしかできない仕事を、きっと残していくと思います。語彙を豊富にすることや読解力の向上など、多くのヒントをいただきました。(岐阜県)

◎連載「アクティブ・ラーニング実践講座」の「総合的な学習の時間」の記事には、生徒が自己を見つめられる仕組みがあり、それを効果的にキャリア教育へつなげていました。評価手法としてGPS-Academicを使い、PDCAサイクルをうまく回している点も参考になりました。(大分県)

◎国会では「働き方改革」が論議され、マスコミでは教職員の「過労死」や「超過勤務」、部活動への「外部人材の活用」等が取り上げられています。そのような時期に、教員の多忙化が連載「データで教育を読む」で取り上げられたことには意義があります。学校への支援や、保護者への啓発などの参考資料にしていきます。(福島県)

編集後記

今号から2つの連載を開始しました。ご要望が多かった「働き方改革」に関する寄稿と、教育行政の現状と目指す姿を教育長にお話いただくインタビューです。加えて、表紙にご登場いただいた学校の特色ある取り組みを、表紙裏のページでご紹介しています。いずれも初回から「熱い」内容となっております。ご高覧いただき、ご意見やご感想を編集部までお寄せいただければ幸いです。4月から新しく担当になりました。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。(久保木)

VIEW21 教育委員会版 2018 Vol.1 2018年6月25日発行/通巻第13号

発行人 山崎昌樹
 編集人 春名啓紀
 発行所 (株)ベネッセコーポレーション
 ベネッセ教育総合研究所
 印刷製本 (株)ムレコムニケーションズ
 編集協力 (有)ペンダコ
 執筆協力 中丸 満、二宮良太、長谷川誠
 撮影協力 荒川 潤、谷口 哲、松原 誠、
 福山 哲、ヤマグチイッキ

◎お問い合わせ先
 フリーダイヤル 0120-350455
 〒700-8686
 岡山市北区南方3-7-17